

6. 通常時及び時短要請期間中の営業時間等

- ・ 期間中の営業時間のパターンが多く、申請書本紙の記入欄に書ききれない場合に記入してください。
- ・ 申請書本紙「7. 協力金額」の「時短状況」欄に、該当するパターン及び時短比率を記入してください。

パターン	※パターンを区分するための番号を記入してください。										
[通常時]											
営業時間 (*1)	開始		時		分	~	終了		時		分
↓											
[時短要請期間中]											
営業時間 (*2)	開始		時		分	~	終了		時		分
<p>*1, *2 24時間表記で記入してください。(例: 深夜1時→25時)</p> <p>*2 休業している場合は、時短要請期間中の営業時間の入力は不要です。</p> <p>*3 21時までの時短分が協力金の対象です。 21時以前に営業を終了した場合は、実際の終了時間にかかわらず通常の営業終了時間から21時まで短縮した時間となります。</p>											
[通常時の営業時間数]						[終了時間の短縮]					
営業時間数 X_i			時間		分	短縮時間 Y_i (*3)			時		分
[時短比率]											
時短比率 $Z_i = Y_i / X_i$						※少数点第4位切上					

パターン	※パターンを区分するための番号を記入してください。										
[通常時]											
営業時間 (*1)	開始		時		分	~	終了		時		分
↓											
[時短要請期間中]											
営業時間 (*2)	開始		時		分	~	終了		時		分
<p>*1, *2 24時間表記で記入してください。(例: 深夜1時→25時)</p> <p>*2 休業している場合は、時短要請期間中の営業時間の入力は不要です。</p> <p>*3 21時までの時短分が協力金の対象です。 21時以前に営業を終了した場合は、実際の終了時間にかかわらず通常の営業終了時間から21時まで短縮した時間となります。</p>											
[通常時の営業時間数]						[終了時間の短縮]					
営業時間数 X_i			時間		分	短縮時間 Y_i (*3)			時		分
[時短比率]											
時短比率 $Z_i = Y_i / X_i$						※少数点第4位切上					

パターン	※パターンを区分するための番号を記入してください。										
[通常時]											
営業時間 (*1)	開始		時		分	~	終了		時		分
↓											
[時短要請期間中]											
営業時間 (*2)	開始		時		分	~	終了		時		分
<p>*1, *2 24時間表記で記入してください。(例: 深夜1時→25時)</p> <p>*2 休業している場合は、時短要請期間中の営業時間の入力は不要です。</p> <p>*3 21時までの時短分が協力金の対象です。 21時以前に営業を終了した場合は、実際の終了時間にかかわらず通常の営業終了時間から21時まで短縮した時間となります。</p>											
[通常時の営業時間数]						[終了時間の短縮]					
営業時間数 X_i			時間		分	短縮時間 Y_i (*3)			時		分
[時短比率]											
時短比率 $Z_i = Y_i / X_i$						※少数点第4位切上					